

VMware Learning Platform

受講者向けガイド

v2.0

目次

概要	3
受講者様の VLP 環境	4
コンソールの選択	4
ラボマニュアル	4
アクティブなコンソール.....	5
ツールバー	6
設定.....	7
FAQ	9
受講者様による登録手順.....	10

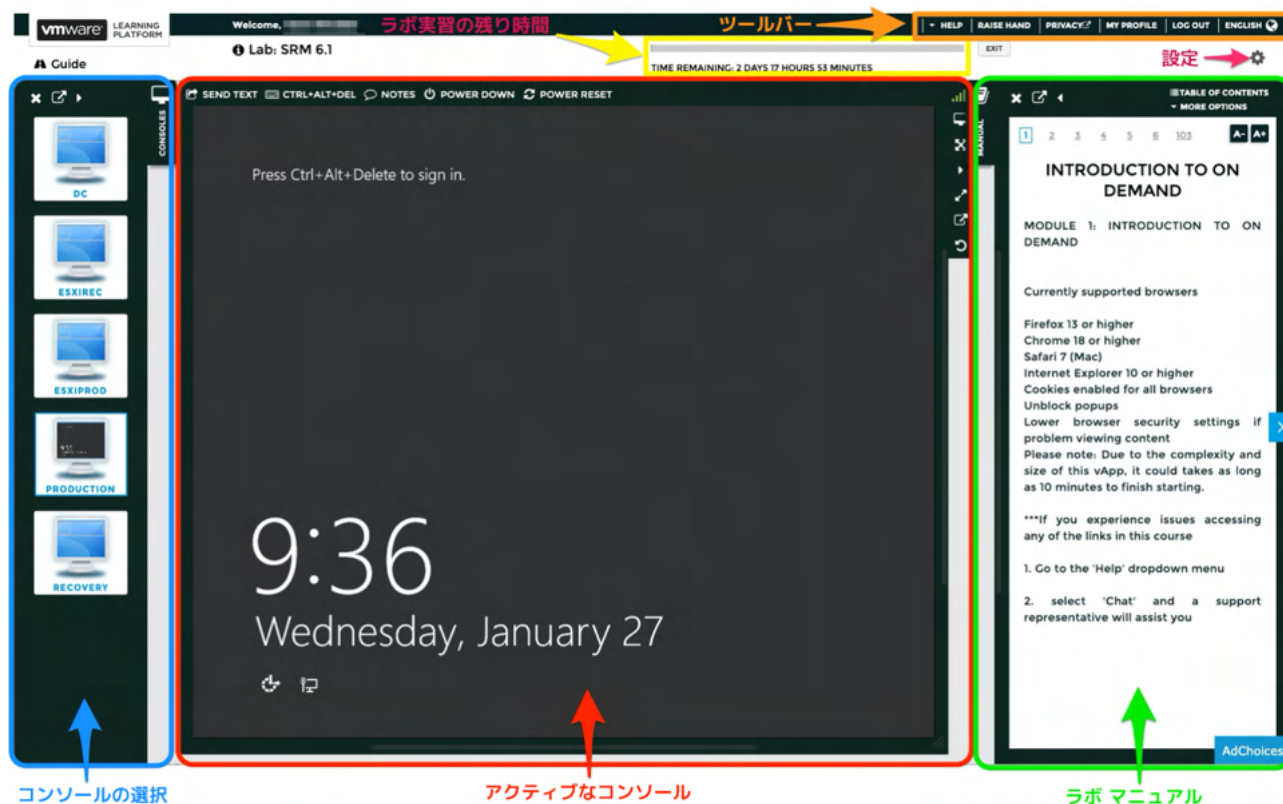
概要

VMware Learning Platform (VLP) は、最新の HTML5 ブラウザーからインターネット経由で実習ラボにアクセスできる最新のプラットフォームです。

本書では、ここに挙げた機能について詳しく解説します。

受講者様の VLP 環境

VLP の環境には、受講者様がラボ演習を実行する際に利用できる多彩な機能が揃っています。



コンソールの選択

受講者様は、vApp 内の複数の仮想マシンのコンソールを切り替えることができます。

ラボマニュアル

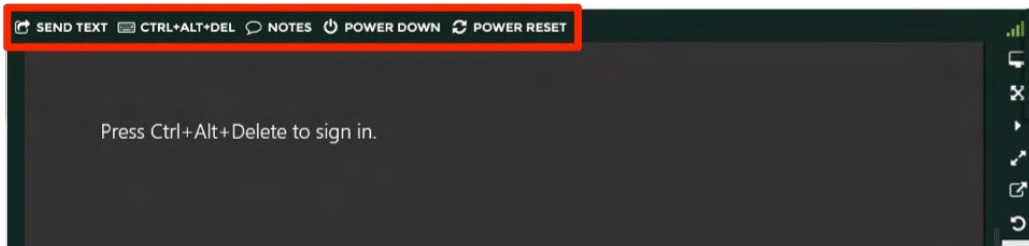
受講者様向けのラボに関する説明が表示される領域です。このマニュアルに表示されたテキストはそのままコンソールにドラッグアンドドロップできるため、複雑なコマンドやパスワードを仮想マシンのコンソールに入力する手間を省くことができます。

perform the lab exercises.

1. Log in to the Production console as user vclass\administrator with the password **VMware!!**.

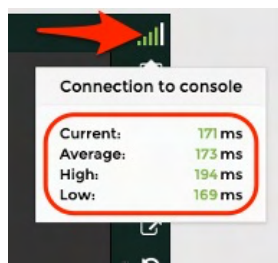
アクティブなコンソール

仮想マシンのコンソールには、仮想マシンレベルで使用できるさまざまな操作機能があります。



- **Send Text** : [Send Text to Console] ウィンドウを表示します。このウィンドウには、ラボマニュアルのテキストをコピーアンドペーストすることも、新しくテキストを入力することもできます。[Send Text]をクリックすると、入力したテキストが自分のラボコンソールに送信されます。テキストは、コンソールのポインターのある場所に表示されます。
- **CTRL+ALT+DEL** : CTRL+ALT+DEL キーの組み合わせを仮想マシンに送信します。このキーの組み合わせを送信した結果は、オペレーションシステムによって異なります。
- **Notes** : ラボに関するメタデータ（メモ、各仮想マシンのユーザー名とパスワードなど）を表示します。
- **Power Down** : 仮想マシンをパワーオフします。
- **Power Reset** : 仮想マシンをハードリブートします。物理的なハードウェアのリセットボタンを押すのと同様の操作です。この操作は、電源の操作とは無関係です。

コンソールウィンドウ自体も、次の制御機能を用いて設定できます。



- Console Latency : コンソール接続の遅延に関する統計値が、棒グラフ状のアイコンで表示されます。
- Full Screen : エンドユーザーのコンソールが中央にドッキングされているか、最大化されているとき、コンソールはブラウザの表示スペース全体に表示されます。コンソールがフローティングウィンドウで表示されているか、または左右のどちらかにドッキングされている場合、コンソール枠の端のあたりにあるハンドルをクリック/ドラッグすれば、コンソールのサイズを手動で変更できます。

注 : 仮想マシンで VMware Tools を実行している場合、ゲスト OS の解像度は新しいコンソールサイズに合わせて更新されます。サポート対象外のコンソールの場合、ゲスト OS の解像度はそのまま変わりませんが、コンソールのサイズはブラウザに合わせて調整されます。

- Maximise : コンソールをブラウザウィンドウのサイズ全体に最大化します。
- Dock Left : コンソールをブラウザウィンドウの左側にドッキングします。
- Dock Right : コンソールをブラウザウィンドウの右側にドッキングします。
- Floating Window : フローティングウィンドウ (デフォルト) 表示とドッキング表示を切り替えます。
- Refresh Console : コンソールの接続を再確立します。注 : このオプションを選択しても、画面表示は更新されません。コンソールがまったく反応しなくなったか接続が切断された場合にだけ、このオプションを使用するようにしてください。

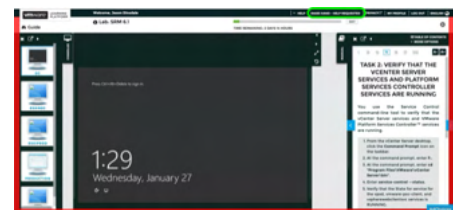
ツールバー



- Raise Hand : 受講者は [Raise Hand] を使用して、インストラクターにサポートを要請することができます。

この機能を使用すると受講者の VLP ブラウザーウィンドウの周囲が赤い線で囲まれ、サポートが必要な状態であることがわかります。

- My Profile : 受講者は必要に応じて自身のプロフィール情報を設定できます。

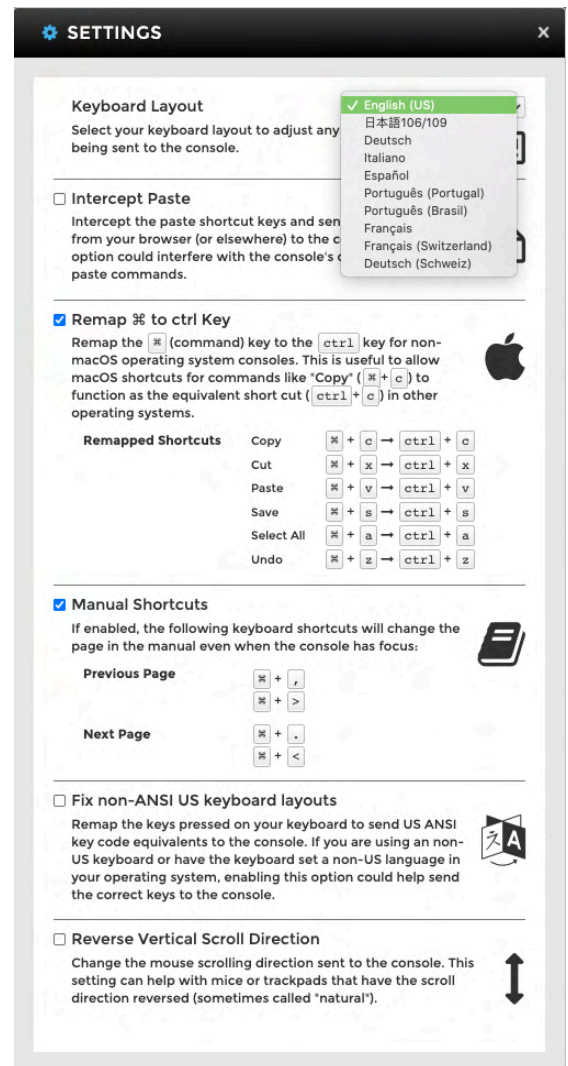


- English : VLP インターフェイスのデフォルトの言語は英語です。このオプションで一時的に別の言語に変更することもできますが、[My Profile]セクションで設定を行うと、設定した言語が継続的に適用されます。

設定

- Keyboard Layout : 英語圏以外の受講者は、誤ったキーがコンソールに送信されないように、キーボードレイアウトを選択する必要があります。
- Intercept Paste : 貼り付けショートカットキーの操作時に、その処理の制御を一時的に奪い、コピーしたテキストをブラウザ（または別の場所）からコンソールに送信します。このオプションをオンにした場合、コンソール自体のコピーアンドペーストコマンドが機能しなくなる可能性があります。

- Remap Apple Key : Mac ユーザー向けの機能です。
- Manual Shortcuts : 有効にすると、コンソール内で操作中であっても、Ctrl キーと組み合わせたキーを使用してマニュアルのページを変更できます。ご利用の環境に応じたキーの組み合わせについては、[Settings] メニュー内の組み合わせ表を参照してください。
- Fix non-ANSI US keyboard layouts : キーボードで押したキーを、US ANSI キーコードの該当するキーに再割り当てして、コンソールに送信します。US キーボード以外を使用しているか、オペレーティングシステムでキーボードをUS 以外の言語に設定している場合、このオプションを有効にすると、正しいキーをコンソールに送信できます。
- Reverse Vertical Scroll Direction : コンソールに送信するマウスのスクロール方向を変更します。この設定は、マウスやトラックパッドのスクロール方向が逆向き（「ナチュラル」と呼ばれることもあります）になっている場合に使用すると便利です。



FAQ

受講者が VLP にアクセスする URL を教えてください。

<https://www.vmwarelearningplatform.com/eduilt/catalogs/enrollments>

受講者が VLP にアクセスする場合に必要な技術的要件を教えてください。

必要な要件はシンプルです。インターネットに接続できることと最新の HTML5 対応ブラウザです。具体的には次のブラウザが必要です。

- Internet Explorer 10 以降
- Firefox バージョン 13 以降
- Chrome バージョン 18 以降

受講者が企業のファイアウォールやプロキシの内側からアクセスする必要がある場合はどうすればよいですか？

ポート 80 と 443 を介して次の VLP サーバと通信できるようにする必要があります。

- www.vmwarelearningplatform.com
- content.vmwarelearningplatform.com
- core.vmwarelearningplatform.com
- ws.learningplatform.com

プロキシを使用している場合は、そのプロキシが HTML5 の WebSocket に対応している必要があります。そうでない場合、VLP は機能しません。

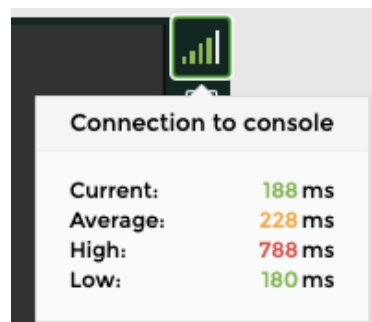
VLP にアクセスするうえで特別なポートが必要ですか？

いいえ、VLP を使用するために必要なポートは 80 と 443 だけです。

VLP のパフォーマンスが良くない場合に、どうすれば問題を診断できますか？

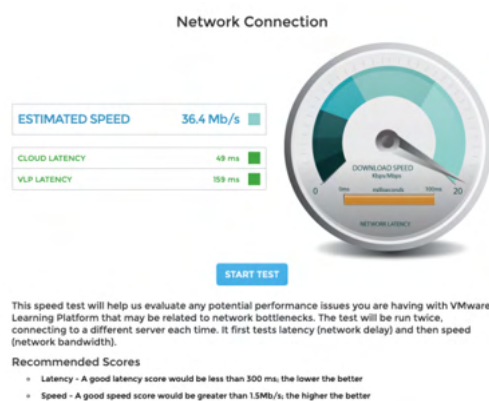
受講者の接続状況インジケータにも、コンソールセッションの瞬間的な遅延の数値が常に表示されています。この数値も遅延の状況に応じて色分けされています。

VLP の帯域幅チェックツールを実行して、ネットワークのパフォーマンスを検証してください。



<http://learningplatform.vmware.com/eduilt/speed-test/>

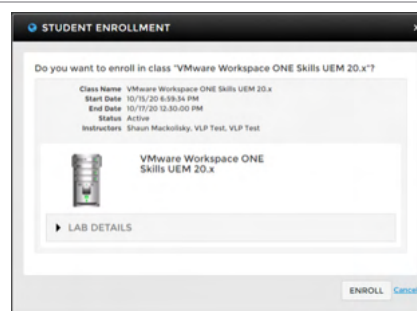
- 結果は、300 ms 未満であれば緑色で表示されます。
- 300 ms を上回り、450 ms 以下の場合は、黄色で表示されます。
- 450 ms を上回る場合は、赤色で表示されます。
- 快適に使用できる速度は、1.5 Mb/s 以上です。
- 快適に使用できる遅延結果は、300 ms 以下です。



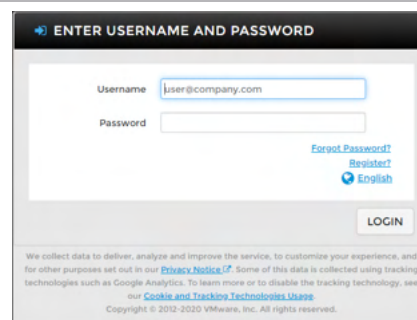
受講者様による登録の手順

受講者様がクラスに登録し、参加できるようになるには、以下の手順に従う必要があります。ここで説明する内容には、インストラクターが知っておくべき情報も含まれます。受講者のサポートが必要となった場合にも参照してください。

1. 受講者様が登録用 URL をクリックすると、コースの参加オプションが表示されます。ここで受講者様は [Enroll] ボタンをクリックします。



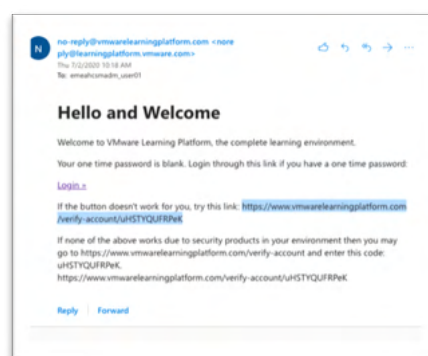
2. 受講者様は、既存のアカウントを使用してサインインするか、新しいアカウントを作成する必要があります。新しいアカウントを作成する場合は、[Register] オプションを選択します。myLearn ご登録アドレスと同一のメールアドレス登録を推奨いたします。



3. 新規登録に際しては、有効なメールアドレスと氏名を入力する必要があります。

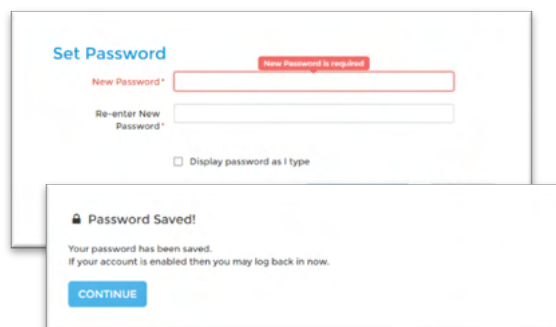
4. 情報の入力が完了すると、指定したメールアドレスに確認用の E メールが送信されます。

確認用の E メールには、登録プロセスに進むための URL が記載されています。



5. その URL にアクセスすると、セキュリティ情報の入力を求められます。

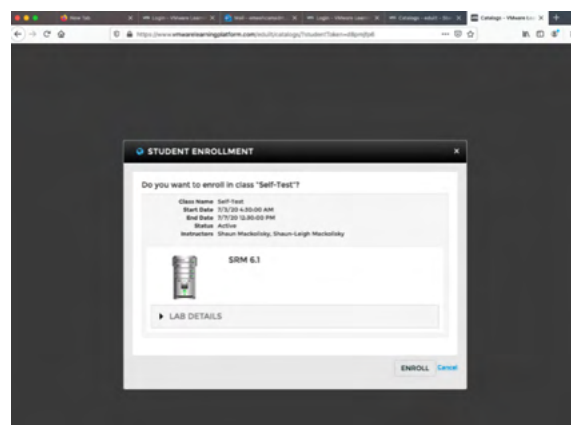
6. セキュリティ情報の入力が完了すると、新しいパスワードを設定するように要求されます。



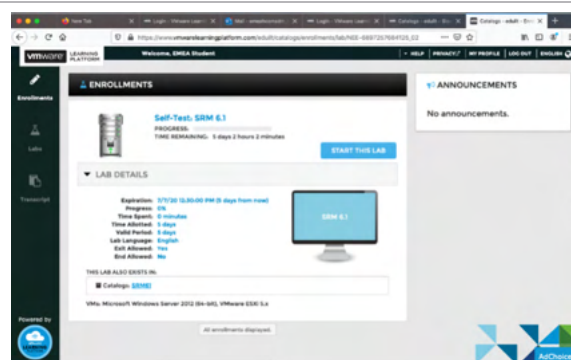
7. 新しいパスワードの設定が完了すると、確認画面が表示され、ログインを求められます。

注：ログインダイアログに戻るには、受講者様は固有の自己登録 URL を再読み込みする必要がある可能性があります。

受講者様が VLP にログインすると、指定のクラスに参加するかを確認するダイアログが表示されます。ここで必ず [Enroll] をクリックする必要があります。



8. 登録が完了したら、受講者様は [Start This Lab] を選択してラボ実習をスタートいただけます。





ヴァイムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2021 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。ほかのすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム No. : vmw-wp-temp-a4-word-101-proof 6/20